



いわてアートサポートセンター

今行くべき街～いわて杜と水の都～盛岡紀行

◎着物 de もりおか街歩き体験

8月は浴衣体験となります。

浴衣を着て、盛岡の街を散策できます。同日に運行している「ボンネットバス(*)」とのタイアップ企画です。

実施日：8月4日(金)、11日(金・祝)～13日(日)、
20日(日)、26日(土)

実施時間：10:00～16:00(着付け時間含み最大6時間)

※16:00終了。15:30までにはお戻りください。

料金：1人3,000円(着物レンタル料、着付け料金含む)

※ヘアメイクはございません。

会場：盛岡町家三崑亭(盛岡市鉦屋町9-35)

予約申込先(メール)：kankou@iwate-arts.jp

※事前予約制。(3日前まで)

当日申込みは空きがある場合に限り可。

【メール送信時のお願い】以下、ご入力の上、上記アドレスへお送りください。

・件名：着物 de もりおか街歩き体験予約

・本文：予約日時、氏名、電話、メールアドレス、性別、身長、足のサイズ

問合せ：もりおか町家物語館 TEL 019-654-2911

(*) ボンネットバスの運行情報については、
みちのりトラベル東北へお問合せ・お申してください。
<https://www.michinoritavel-tohoku.jp/>

★オプション企画★ 「お茶席体験」

実施日：8月20日(日)、26日(土)

実施時間：11:00～15:00(先着30名)

※お菓子がなくなり次第終了。

料金：盛岡のお菓子付1人500円

※着物(浴衣含む)着用の方は100円引き

場所：もりおか町家物語館 母屋2階和室

アーツライブいわて2023 IWATE AIR/AIR

劇場演劇部「遠い君ほどわたしから遠ざかる速度が速い」

作・構成・演出：穴迫信一(ブルーエゴナク)

構成・美術：金子未弥

出演：山岸聖恋、藤原萌衣

日時：8月13日(日) 13:30開場 14:00開演

会場：風のスタジオ

料金：前売一般1,000円 U18(18才以下)500円

当日500円増 ※未就学児入場不可

プレイガイド：プラザおでっ／カワトク／もりおか町家物語館
／風のスタジオ

問合せ：宮古市民文化会館 0193-63-2511



詳細はこちら↑

—残したい盛岡のお盆風景 2023—

8/14「黒川さんさ門付け」

鉦屋町界隈
情報

これからも残していきたい、盛岡の風景があります。

盛岡市鉦屋町界隈ではお盆の午後6時頃から町内でご先祖を
迎える迎え火・ご先祖をお送りする送り火が始まり、8/14
は伝統さんさ「黒川さんさ」の門付けが行われます。

●迎え火 8/14、15 ●送り火 8/16

最新情報はホームページでお知らせします。

【お問い合わせ】

NPO 法人盛岡まち並み塾事務局

所在地 〒020-0827 盛岡市鉦屋町3-15

「大慈清水御休み処」内
※大慈清水のすぐ近くです♪

TEL 019-656-1603

営業時間 10:00～16:00

(水曜日定休・夏季休業8/11-13・15)



発行者 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

【本部】

〒020-0874 盛岡市南大通1丁目15-7 盛岡南大通ビル3階

TEL(019)656-8145 FAX(019)656-8146

E-mail info@iwate-arts.jp URL https://iwate-arts.jp

本部 HP



【肴町事務所・風のスタジオ】

〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階

TEL(019)604-9020 FAX(019)604-9021

E-mail kaze@iwate-arts.jp URL https://kaze.iwate-arts.jp

<窓口営業時間> 月～土 9:30～17:30

<施設利用可能時間> 9:30～21:30 ※日及び祝日・年末年始休み

風のスタジオ HP



【もりおか町家物語館】

〒020-0827 盛岡市鉦屋町10-8

TEL(019)654-2911 FAX(019)654-2913

E-mail machiya@iwate-arts.jp URL https://machiya.iwate-arts.jp

<開館時間> 9:00～19:00(最終入場18:30) ※浜藤ホールのみ利用時は21:30まで

<大正蔵1階ショップ&カフェ営業時間> 10:00～17:00

<休館日> 毎月第4火曜(祝日の場合はその翌日) 年末年始12/29～1/3

<入館料> 無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

大正蔵1階
「時空の商店街」
SHOP & CAFE
インスタグラム



もりおか町家物語館 HP



8

もりおか町家・風の通信



8/14(月) 黒川さんさ門付けが行われます

※写真は以前のものです



もりおか町家物語館

★8月は22日(火)が休館日です★

町家のお化け屋敷

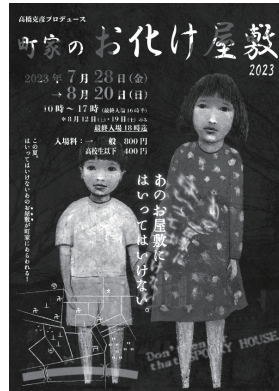
あのお屋敷にはいってはいけない。
Don't enter that SPOOKY HOUSE

この夏。入ってはいけないあのお屋敷が町家にあらわれる！

< 日時 >

～8/20(日) 10:00～17:00 (最終入場 16:30)

★8/12(土)、19(土)は最終入場 18:00 まで



< 会場 >

もりおか町家物語館
浜藤ホール

< 料金 >

一般 800 円

高校生以下 400 円

【盛岡市所蔵美術品展】

「橋本花と金子千恵子」

盛岡市所蔵の美術品の中から、今回は今年没後 40 年の橋本花の作品と、画友である金子千恵子の作品を展示します。画家・橋本八百二の妻であった橋本花は、1983 年(昭和 58 年)の 8 月 22 日に 78 歳で亡くなりました。2 人の作品をぜひご覧ください。

< 会期 > ～ 9/24(日)

9:00～19:00 (最終入場 18:30)

< 会場 > 大正蔵 1 階 展示コーナー

「大正蔵 1 階 SHOP & CAFE」 < オススメ商品のご案内 >

沖縄県うるま市コーナー好評開設中

今月で紹介するのは うるま市からの推奨品「むちむちパイ」

盛岡市の友好都市、うるま市から直送の

パイナップルの果肉を練りこんだフルーティな黒糖菓子。

ミネラル・カルシウムたっぷりの南国のおやつは

熱中症対策にも！！

体力を使う運動前や、頭を使う勉強の合間にどうぞ♪ ￥190 (税込)



この他、ショップでは盛岡の工芸品や地酒、銘菓など、賑わいに溢れた品揃えで皆様のお越しをお待ちしております。

営業時間：10:00～17:00

◆浜藤の酒蔵ブックマーケット 2023 Summer

6 月 25 日(日)開催しました。今回は「旅に出よう、本を持って」をテーマに過去最多の 25 組の出店者が、古本や ZINE (自主制作本)、読書グッズ等を出品。絵本読み聞かせや朗読会等の特別イベントもあり、また天候にも恵まれ、たくさんの来場者で賑わいました。

◆七夕演芸会 2023

6 月 29 日(木)夜に開催しました。落語家の古今亭駿菊さんをはじめ、シンガーソングライターの古屋敷裕大さん、紙切り芸人の林家富楽さんが出演。約 40 名のお客様にご来場いただき、笑いと歌で楽しんでいただきました。ご来場ありがとうございました。

町家事業 REPORT

◆盛岡市所蔵美術品展

「海外作家～農村風景～」

盛岡市所蔵の美術品を当館大正蔵 1 階展示スペースにて、5 月 29 日(月)～7 月 23 日(日)まで「海外作家～農村風景～」をテーマに、バルビゾン派による農村風景を描いた 7 作品を展示しました。かつて盛岡橋本美術館で所蔵していた作品です。今後も小規模ですがご紹介していきますので、ぜひご覧ください。

コミュニティスペース DOMA
イベント情報

立ち呑み処 いわて漆亭 & 漆茶屋 in もりおか町家物語館

漆の盃で岩手の銘酒の試飲や、漆器などの展示販売をします。

日 時：8月5日(土)～6日(日)

開催時間：10:00～17:00

会場：もりおか町家物語館 母屋 1 階 (※旧カフェ DOMA)

※こちらで作品を展示することができます。詳しくは当館までお問合せください。

リレーコラム No.80

巡り巡って着物との縁

みなさんは「着物の思い出と言えど？」と聞かれて、どんな思い出がありますか？

幼い頃なら七五三、結婚式へのおよばれや、成人式などが多いでしょうか。日舞や茶道などの習い事という方もいるかもしれません。

私自身で言えば、その習い事が「着物の思い出」の一つになります。当時、3つか4つの私は、母に踊りを習いたいと言ったそうです。母はてっきり踊りと言えばバレエかと思ったのですが、私はハッキリ「着物を着て踊りたい」と。母はかなり驚いたようですが、幼い娘がそこまで言うならば叶えてあげようとしてくれました。でも、我が家、裕福な家ではございません。毎月のお月謝などの費用、発表会ともなると着物も必要です。先生に「相談」というより「お願い」だったかもしれませんが、着物をお借りするなど発表会に向けての準備は大変だったと思います。そんな母の苦勞を知る由もない幼い私は、着物を着て踊れる嬉しさ(お稽古は浴衣)で、稽古を休むことなく通ったようで、毎回、「あと何回寝たらお稽古に行けるの？」と聞いていたそうです。手元に唯一 1 枚だけ残っている写真がありますが、そこには着物姿で踊りの発表をしている私と、その舞台後ろでそっとついてくださっている先生が映っています。

さて、この私の着物の思い出の結末はというと、いつものように「あと何回寝たらお稽古？」という私に、「しばらくはお稽古がないのよ」と母。この繰り返しが何度か行われているうちに、しだいにフェードアウトとなりました。

その後の着物姿はおよばれ、成人式、友人たちと浴衣で夏祭りくらいでしたが、現在、これまでとはまた違った形で着物と関わることになり不思議な縁を感じています。

今年、レンタル着物で鉾屋町界隈など散策していただける「着物 de もりおか街歩き」が 7 月末から 10 月まで行うことになり、7 月・8 月は浴衣、9 月・10 月は着物で散策出来ます。2023 年に行くべき世界の 52 か所で 2 番目に選ばれた盛岡市。そこにコロナが 5 類となった現在、海外からの観光客も多くみられるようになってきました。是非着物が似合う街もりおかで、着物(浴衣)を着ていただいて、思い出づくりの一つになればうれしいです。

心の声としては、.. 普段から着物が着られる環境や機会があるともっと嬉しいですね。

NPO 法人いわてアートサポートセンター

目黒 千恵子